

令和2年10月23日

各関係機関の長 殿

佐賀大学医学部附属病院長  
山下 秀一  
【公印省略】

検査部副技師長候補者の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本院では、このたび現検査部副技師長の令和3年3月31日付定年退職に伴い、後任の副技師長を選考することになりました。

つきましては、下記要領のとおり候補者を公募いたしますので、御多忙中のところ恐縮に存じますが、貴機関関係者に御周知いただくとともに適任者の推薦について、御配慮くださいますようお願いいたします。

なお、選考の過程において、候補者の方にご来院いただき、抱負等を伺う予定ですので、あらかじめ御承知おき願います。

敬具

記

1. 採用予定日 令和3年4月1日
2. 役職任期 役職任期は3年とし、再任は可（審査あり）。任期の末日が、定年退職日後となる場合は、定年退職日をもって退職することとする。なお、再任が認められなかった場合は、副技師長の任期満了後は、本院の技師であった者は副技師長に昇任した日の直前の職として、その他の者は係長として勤務を続けることができる。
3. 応募資格 (1) 臨床検査技師免許を有し、臨床検査技師業務（教育、研究期間を含む。）の経験を15年以上有していること又はこれと同等以上の職務経験を有する者  
(2) 次のいずれかに該当する者
  - ① 大学附属病院又は医療系学部等の教員
  - ② 大学附属病院又は国立病院等の臨床検査技師
  - ③ ①及び②に掲げる者以外で、病院長が適格と認める者  
(3) 検査部門の管理運営に関し能力を有し、かつ実績があると認められること。  
(4) 学術業績があり、これを副技師長職に活用し、部下を指導できること。  
(5) 病院の理念・方針に基づき、理念を掲げ、効率的に資源を調達・配分し、検査部門の運営に参画できること。  
(6) 心身ともに健康で責任感が強く、職務に意欲的であること。  
(7) 他部門との連絡調整が円滑に処理できること。

- (8) 職務に関連する対外的活動に積極的に参加できる見識を有していること。
- (9) 経営陣の一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できること。

4. 提出書類
- (1) 履歴書（別紙様式1） 1部
  - (2) 研究業績書（別紙様式2） 1部
  - (3) 検査部副技師長職についての抱負 1部  
（様式任意 1000文字程度）
  - (4) 臨床検査技師免許証の写

※ 所定様式及び記載要領は、本学部ホームページ  
(<https://www.gab.med.saga-u.ac.jp/boshu/main.html>) から  
ダウンロードしてください。

5. 提出期限 令和2年11月9日（月） （必着）

6. 提出先 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号  
佐賀大学医学部附属病院長 山下 秀一  
〔応募は、原則として郵便（書留）とし、封書の表に  
「検査部副技師長応募書類在中」と朱書願います。〕

7. 問い合わせ先 医学部総務課人事系 TEL0952-34-3321 Fax0952-34-2011

## 履歴書及び研究業績書の記入要領

### 1. 履歴書

- (1) 「生年月日」の欄には、この履歴書の記入月日における満年齢を記入する。
- (2) 「本籍地」の欄には、都道府県名のみ記入する。
- (3) 「学歴」の欄には、高等学校卒業以降の学歴及び実地修練等のすべてについて記入する。
- (4) 「免許・資格」の欄には、臨床検査技師免許の取得及び交付番号、その他、過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、職名及び担当授業科目名を記入する。
- (5) 「職歴及び研究歴」の欄には、職歴及び研究生、専修生等のすべて（外国留学等を含む）について記入し、職名、地位、所属講座等（非常勤の場合はその職名の次に（非常勤）と記入）についても明記する。
- (6) 「所属学会及び社会における活動」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入する。  
(例) (〇〇学会会員、評議員、〇〇省・〇〇研究班班員)
- (7) 「賞罰」の欄には、研究活動に関する表彰なども記入する。

### 2. 研究業績書

- (1) 「類別」の欄には、著書、学術論文等に区別し記入する。
- (2) 「番号」の欄には、著書、学術論文等ごとに、それぞれ発行年月日順に番号を記入する。学術論文は、綜説、原著、症例報告、その他に区別してまとめる。
- (3) 「著書・学術論文・学会発表等の名称」の欄の記入は、次のとおり。  
イ 著書は、書名を記載し、分担執筆の場合は担当部分の題目を併記する。  
ロ 学術論文は、その題名を記載する。  
ハ 外国語による学術論文は、その外国語を用いて記載する。
- (4) 「誌名・発表学会等の名称」の欄には、著書については出版社(発行所)名、学術論文については学術雑誌名を記入する。

「巻・頁」は、学術雑誌掲載の論文は、「巻」と始頁～終頁を記入し、頁が号ごとに付されているときは「号」を( )内に記入する。

(例) 第23巻821頁から834頁      23、821～834  
第23巻4号28頁から31頁      23(4)28～31

- (5) 「共著者等の氏名」の欄には、「共著」の場合は本人の順位がわかるように著書、論文での記載順に従い本人名を含めて全員の氏名を記入し、本人名に下線を引く。

ただし、極めて多数の場合は、筆頭者から5名程度とし、他の共著者については、ほか〇名と記入する。この5名程度中に本人が含まれないときは、ほか〇名の次に（本人第〇位）と記入する。なお、著書で単著の場合は、「単著」と記入し、学位論文については、この欄に(学位論文)と記入する。

- (6) 最終個所に、この調書に記載したものを含めて全部の数を記入する。

(例) 著書                      7冊(単著 2冊、共著 5冊)  
     綜説                      28編(単著 12編、共著 16編)  
     原著                      30編(単著 15編、共著 15編)  
     症例報告                26編(単著 20編、共著 6編)  
     学会発表                3回

- (7) 研究業績中の原著については、いわゆる論文形式を備えたもので、レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された業績のみを記載する。